

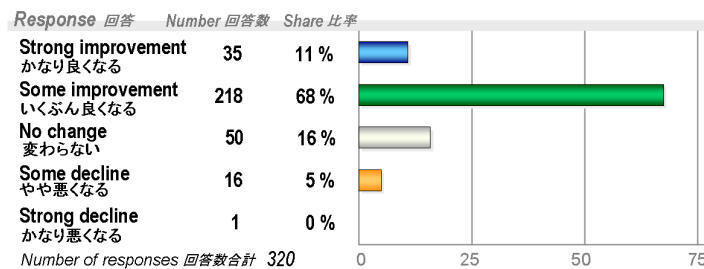
FCIGビジネス景況アンケート

在日外国商工会議所は経済およびビジネスパフォーマンスにかなり強い進展を見込んでいます。

在日外国商工会議所連絡会 (FCIG) は、日本にある外国商工会議所とビジネス団体により構成されていますが、第4回ビジネス景況アンケートを10月14~27日に実施しました。このアンケート調査は13のメンバー組織、2,150の外国関連企業に送られ、328の有効的返答を得ました。

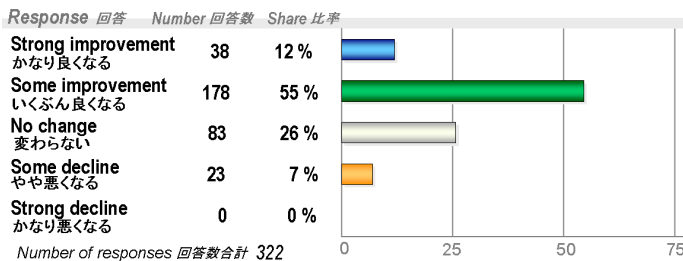
この調査において、この先6ヶ月の日本経済見通しに関して、指数は4月の調査指数の - 0.32 から今回の指数 + 0.68 と良い進展を示しました。 - 2 から + 2 までの目盛りの中で1ポイントの進展はかなり大きい。非常に悪くなると返答した企業は一つもなく、またやや悪くなると返答したのはたった3%でした。

Economy next 6 months 今後6ヶ月の日本経済の予測



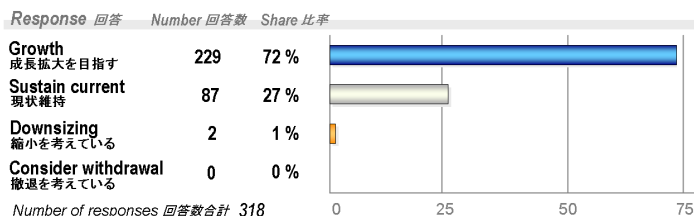
企業はビジネスに関して順調な経営を続けていると報告している。販売は増加し、売上げの関してはより肯定的進展を期待している (指数 + 0.72、対し3月の指数は + 0.55)。売上げに関して、やや減少の見通しと返答した企業は7%、またかなり減少すると返答した企業は無かった。

Profitability next 6 months 今後6ヶ月の収益



日本の外資系企業日本市場にかなり肯定的に期待していると確信できる証明は、彼らの企業戦略についての質問に72%が強く進展を信じており、3%のみが規模の縮小、さらに328企業の中でこの市場からの撤退を考えていると返答した企業は一つも無かった。

Strategy in Japan 日本での企業戦略



次の調査は2004年4月に実施予定。

この調査の全レポートはこちら

<http://www.fcc.or.jp/fcig/confidence-survey.html>